

2012年4月 地域自然情報研究会



日本の湖沼における水生植物多様性と再生可能性の評価

西廣 淳 氏 (東京大学農学生命科学研究科)

湖沼は、多様な動植物のハビタットであるだけでなく、水の直接的な利用、漁業、観光など、社会との結びつきが強い場であり、その生態系の健全性の維持は社会的な課題である。湖沼における水生植物(沈水植物や浮葉植物)は、それら自体に絶滅危惧種が多く保全上の価値を有するだけでなく、物質循環や物理構造への影響を通して湖沼生態系の状態に強く影響する。

セミナーでは、主に文献記録から把握された、過去約60年間における日本各地の湖沼の水生植物の多様性や量の変化と、それらの地域間の相違について解説する。また土壌シードバンク(埋土種子集団)の調査が行われている霞ヶ浦と印旛沼を対象に、地上から消失した水生植物の再生可能性について議論する。埋土種子を活用した植生再生は、いつ頃まで可能だろうか? 将来に再生可能性を残すには、どのような取り組みが有効だろうか?

開催日時

2012年4月21日(土) 18:00~19:30

※いつもと時間が異なりますのでご注意ください。

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレスをご記入の上、下記までご連絡下さい。

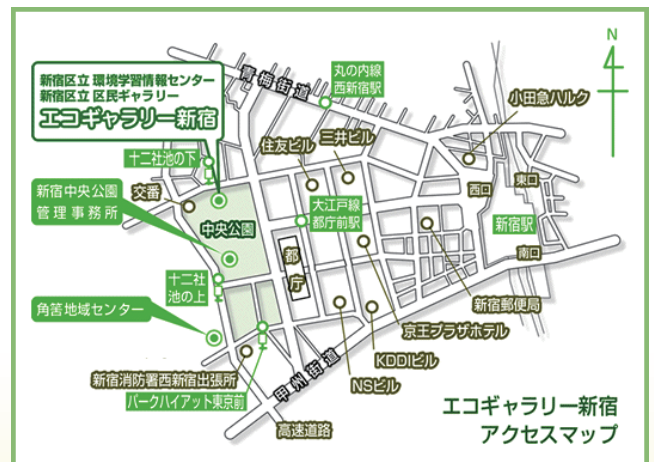
mail: gcnken@gmail.com

FAX: 03-3260-3795

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(担当: 井本・梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク(GCN)は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>